



農山漁村活性化再生可能エネルギー事業化サポート事業

再生可能エネルギー事業に関心のある方、是非ご参加ください!!

シンポジウム in 福島

農山漁村を豊かにする 再生可能エネルギーのちから

日時 2016年
9月27日(火)
13:00-17:00
(開場 12:30)

会場 **コラッセふくしま**
5F小研修室

- 定員 80名
※先着順で受け付けます。定員に達しましたら参加申込の受け付けを終了させていただきます。早めにお申し込みください。
- 参加無料
申し込みは裏面をご覧ください。
※9月28日は、会津電力などが取り組む再生可能エネルギー事業の見学会を行います(有料)。参加ご希望の方は裏面をご覧ください。

会場詳細

コラッセふくしま
5F小研修室
福島県福島市三河南町1番20号
TEL (024) 525-4089

【アクセス】

- JR福島駅
(東北新幹線、東北本線、奥羽本線)
西口より徒歩3分
- 東北自動車道福島西IC、
飯坂ICから車で約15分



プログラム

- ◆ 基調講演
「再生可能エネルギーが拓く新しい地域経済」
～金融の現場からみた再エネの魅力と可能性～

吉原 毅 氏 (城南信用金庫相談役)

金融機関で長年地域支援に携わられたご経験から、地域で再エネ事業を行う意義と効果などについて、ご講演いただきます。



- ◆ 農山村地域の再生可能エネルギー 事例紹介①
「地域の恵みを活かして豊かに生きる」
～徳島地域エネルギーの取り組み～
豊岡 和美 氏 (一般社団法人徳島地域エネルギー事務局長)

- ◆ 農山村地域の再生可能エネルギー 事例紹介②
「会津地域のエネルギー自立を目指して」
～会津電力の取り組み紹介～

佐藤彌右衛門 氏 (会津電力(株)代表取締役)

折笠 哲也 氏 (会津電力(株)常務取締役)

- ◆ パネルディスカッション
「地域が主導する再生可能エネルギー事業」

農山漁村が再エネ事業に取り組む意義、再エネ事業を事業として成立させるためのポイント、課題の乗り越え方や成功の秘訣などについて、会場からの質問を交えてディスカッションします。

コーディネーター 黒崎 晋司 氏 ((株)地域計画建築研究所)

パネリスト 上記登壇者

千葉 訓道 氏 (飯館電力(株)専務取締役)

遠藤由美子 氏 (会津自然エネルギー機構理事)

※講演者及び講演・事例紹介のタイトルは、当日変更になることがあります。

お問い合わせ

一般社団法人全国ご当地エネルギー協会
TEL: 03-5942-4211 FAX: 03-5942-8938

※本シンポジウムは、農林水産省の補助事業として実施しています。

【登壇者プロフィール】



吉原 毅氏 (城南信用金庫相談役)

慶応義塾大学経済学部を卒業後、77年城南信用金庫に入職。92年に理事・企画部長、96年に常務理事、専務理事、副理事長をへて、2010年理事長就任、共に助け合う協同組織としての信用金庫の原点回帰を打ち出し、理事長年収を支店長の平均以下、全役員の定年60歳、現場による経営計画策定など、異色の改革を行う。
2011年4月1日には福島第一原発事故を契機に「原発に頼らない安心できる社会へ」を発表し「脱原発」宣言。東日本大震災以降、被災地支援を精力的に展開し、職員による被災地支援を続けている。2014年城南総合研究所長委嘱、加藤寛慶應義塾大学名誉教授、小泉純一郎元内閣総理大臣を名誉所長に迎えて脱原発の後援活動を推進。
2015年、役員定年に伴い相談役に就任。2015年一般社団法人しんきん成年後見サポート理事長就任、講演活動なども積極的に展開。明治学院大学客員教授、千葉商科大学特任教授、著書に『信用金庫のカー人をつなぐ、地域を守る』(岩波書店)、『城南信用金庫の「脱原発」宣言』(クレヨンハウス)、『原発ゼロで日本経済は再生する』(角川学芸出版)



佐藤 彌右衛門氏
(会津電力株式会社 代表取締役社長
一般社団法人 全国ご当地エネルギー協会
代表理事)

江戸時代より続く合資会社『大和川酒造店』の九代目社長。原発に依存せず地域に根差した再生可能エネルギーによる社会を目指し2013年8月、会津電力設立。2014年に設立された「全国ご当地エネルギー協会」代表理事に就任。



折笠 哲也氏
(会津電力常務取締役)

Panasonicにて通信、コンピュータ関係の仕事に従事。その後、会津に戻り飲食業を営んでいたが原発事故を受け、再生可能エネルギーを新たな事業として取り組む事を決意。現在、会津太陽光発電(株)代表取締役。

【会津電力などが取り組む再エネ現地見学会 9/28(水)】

会津電力及び元気アップつちゆが取り組んでいる再生可能エネルギー事業の現場を見学します。
見学する場所は下記となります。集合場所からバスで現場を訪問し、事業に関する説明を受けます。

※本見学会は、農林水産省の補助事業採択事業者の研修会として実施します。一般参加者は若干名の募集となりますので、ご希望の方は下記申込方法を参照の上、早めにお申し込みください。受付は先着順で、定員になり次第募集を締め切ります。

◆日 時:9月28日(水) 8:45~14:30

◆見学場所

◆集合場所・時間:
福島駅西口バスロータリー
午前8:45集合(出発9:00)

・土湯温泉バイナリー発電
・土湯温泉小水力発電
・喜多方雄国太陽光発電所

◆参加費:4,000円 ※昼食代含む
15時頃 喜多方駅で解散予定

【申し込み方法】

本申込書を以下にFAXいただくか、HPの申込フォームからお申し込みください。

FAX番号:**03 - 5942 - 8938**

HP:<http://communitypower.jp/news/2017>

フリガナ		フリガナ	
お名前		ご所属	
TEL		e-mail	
同伴者 氏名			
◆現地見学会に参加を希望される方のみ、下記にご記入ください			
参加人数		名	
※シンポジウムと参加者が異なる場合のみ、参加者氏名をご記入ください。			